

第21回国立市健康危機管理対策本部会議記録	
日時	令和3年9月29日（水）午後1時30分から午後2時30分
場所	市議会委員会室
出席者	永見市長、竹内副市長、雨宮教育長、藤崎行政管理部長、松葉子ども家庭部長、大川健康福祉部長、葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長、黒澤生活環境部長（健康福祉部ワクチン接種対策室長）、江村都市整備部参事、矢吹会計管理者、橋本教育次長、内藤議事事務局長、佐伯オンブズマン事務局長、玉江選挙管理委員会事務局長、田代監査委員事務局長 立川消防署：濱渦国立出張所長
付議事項	<p>（1）緊急事態宣言解除後の市の対応について</p> <p>①国立市の感染状況について（資料No.1、2、4）</p> <p>②国立市医師会長コメント（資料No.3）</p> <p>③東京都におけるリバウンド防止措置について（資料No.5）</p> <p>④市内の公共施設の取り扱いについて</p> <p>⑤職場での感染防止対策について</p> <p>（2）市民への広報について</p> <p>（3）自宅療養者への医療支援</p> <p>（4）ワクチン接種の状況について</p> <p>（5）その他</p> <p>①立川消防署からの情報提供</p>
主な内容	<p>（進行：大川健康福祉部長）</p> <p>1 本部長あいさつ（永見市長）</p> <p>明日で緊急事態宣言が解除されるということで、その対応と基本的方針について考えていただく。やっと、市内の新規陽性者数も落ち着いてきたが、いつリバウンドするか分からない。十分な議論をし、対策をとって秋冬に備えてほしい。</p>
2 議 題	<p>（1）緊急事態宣言解除後の市の対応について（大川健康福祉部長）</p> <p>①国立市の感染状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都モニタリング会議資料（資料No.1、No.2、No.4） <p>②国立市医師会長コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.3 <p>③東京都におけるリバウンド防止措置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料No.5 <p>④市内の公共施設の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育館、芸小ホールについては、20時以降の自粛を21時以降に変更する。50%上限は継続とする。（橋本教育次長） ・集会所は、50%上限は継続、21時以降の利用を自粛していただく。（黒澤生活環境部長） ・福祉会館は、段階的に解除していく。各部屋は定員の半分以下の利用、入浴施設は1時間あたり4名程度に、段階的に増やしていく。喫茶わかばは10月中旬に再開予定。（大川健康福祉部長） <p>⑤職場での感染防止対策について（藤崎行政管理部長）</p> <p>職員の新規陽性者は、8月中旬以降発生していない。職場内での感染防止対策については、今回のリバウンド防止措置において会食等の扱いが変わってきているため、改めて通知する予定。</p> <p>（2）市民への広報について（大川健康福祉部長）</p> <p>緊急事態宣言が延長された頃から今週の初め頃まで、ごみ収集車による放送を行ってきた。今回の緊急事態宣言解除のタイミングで、改めて感染対策を呼びかける放送を、ごみ収集車で流すこととしたい。</p> <p>（3）自宅療養者への医療支援（葛原地域包括ケア・健康づくり推進担当部長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規陽性者数が減少するにつれて、電話等相談件数や物資配布、パルスオキシメーター（動脈血酸素飽和度測定器）配布等の対応件数も落ち着いてきている。 ・今後の体制については、平日は今までどおりの対応、日曜日は自宅待機とし携帯電話で対応することとしたい。 <p>（4）ワクチン接種の状況について（黒澤ワクチン接種対策室長）</p> <p>ワクチン接種（1回目）は79.7%、2回目は70.7%である。集団接種は10月9日が最終日だが、2つの医療機関で10月22日まで1回目接種の予約を受入れている。自衛隊の接種センターについては引き続きホームページで情報提供していく。</p> <p>（5）その他</p> <p>①立川消防署からの情報提供（立川消防署濱渦国立出張所長）</p> <p>新型コロナウイルス感染症患者の減少と、熱中症患者の減少が影響していることから、救急出場件数も落ち着いてきた。新型コロナウイルス感染症患者の救急搬送については、新たに設けられた基準に則って搬送先の医療機関選定等を行っている。</p>
3 本部長指示及び対応方針について（永見市長）	<p>やっとここまで落ち着いてきたという安堵感がある。ただ、第5波が来る前にも同様の状態であったため、変化があったら早めに兆しを捉えて、臨機応変な対応をお願いしたい。</p>